

佐賀国道事務所

オリエンタル白石(株)が協力

大学生に出前講座

国土交通省佐賀国道事務所は8日、九州大学工学部地球環境工学科建設都市工学コース

の4年生15人を対象に出前講座を行った。西九州自動車道唐津伊万里道路の住吉橋(仮称)



久賀監督官



佐藤氏

の施工を担当するオリエンタル白石(株)が協力。同社福岡工場で、プレキャストセグメント方式によるPC桁製作の現場を見学した。

社会資本整備事業の意義を学び、ものづくりの現場から建設業に対する興味や関心を高め、人材育成を図ることを目的に開催。見学会では、佐賀国道事務所の久賀隆弘建設監督官が西九州自動車道の事業概要を説明したほか、住吉橋上部工事業業所の現場代理人、佐藤誠二氏が工事内容

の施工を担当するオリエンタル白石(株)が協力。同社福岡工場で、プレキャストセグメント方式によるPC桁製作の現場を見学した。

工場内の見学

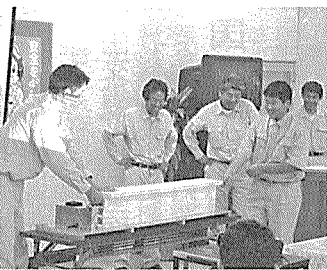


や施工方法を紹介した。

工場内では鉄筋が組みあがった状態の桁を見学。緊張材の配置など、桁の構造を詳しく観察した。参加した扇孝洋さんは「日頃、勉

強していることを実際に見ることで、大変貴重な経験をさせて頂いた。橋の強度を上げるために緊張材の場所を変えていることや、ミリ単位で設計されていることを知り感動した。橋梁は、交通手段として谷や川を結び、人や物、地域の交流を広げる。将来は、施工者として橋を架けてみたいと、改めて思った」と感想を述べた。

オリエンタル白石(株)の佐藤氏は「土木の仕事は地図に残る仕事。この魅力に気づいてくれると嬉しいです。ぜひ将来は施工者になり、一緒に記憶、記録に残る仕事をしましよ」と呼びかけた。なお、11日には鳥栖工業高校土木科の3年生36



高校生らに模型を使いセグメント桁を説明

人と1年生40人の現場見学も受け入れた。